

海外派遣留学生  
留学報告書

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数:57 時間
- ・科目名:ドイツ語

時間	月	火	水	木	金	土	日
例)9時～13時	○	○	○	○	○	○	Free
9:15～12:00	○	○	○	○	○	Free	Free

10:45～11:00 の 15 分休憩

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスは生徒 15 人に先生一人の座学が中心でした。国籍はかなりバラバラで、韓国、中国、インド、フィリピン、ブラジル、ペルー、イラン、アラブ首長国連邦、トルコ、パキスタン、チェコ、ウクライナ、南アフリカからそれぞれ一人ずつ、日本人が二人いました。担当の先生は 3 回ほど変わりました。しかし、初級クラスであったため、とても優しく教えてもらいました。授業は基本的に英語でドイツ語を学びました。教科書は大学の本屋さんで売っているものを使用しました。はじめにクラス分けテストを受けてそれに応じて、クラスの場所、先生、教科書が決められました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

授業は午前中のみだったため、午後の放課後の時間を使ってウィーン市内を観光しました。ウィーン市内にはたくさんの美術館や博物館、歴史的建造物がありました。ウィーンオペラ座でオーケストラを鑑賞し、有名なカフェで本場のウィンナーコーヒーやザッハトルテを食べました。また、シュニツェルの有名店に行き、ランチを楽しみました。土日は完全にフリーでしたが、私はウィーン市内を堪能しなかったため、市外へは行きませんでした。他大学の学生はザルツブルクの渓谷など、大自然を見学しに行っていました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

ウィーン大学本館の図書館で数回勉強しました。ウィーン大学の図書館はとても豪華で、フィクションの世界に入ったような空間でした。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋:1部屋\_1人で使用 この部屋が4人分ありました。

海外派遣留学生  
留学報告書

**様子:**

学校の寮は 4 人部屋で、寝室は完全に一人部屋でした。そのため、自分の時間をしっかりとることができました。また、キッチンルームメイトと共同で使用したため、ポーランド人のルームメイトとカルボナーラを作った事が印象に残っています。

洗濯機は一回 2.75€ (387 円) でした。乾燥機は無料でしたが、最初の 1 週間は洗濯機が壊れていて、使えなかったため、コインランドリーに行っていました。

**[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。**

● **楽しかったこと:**

留学中は楽しいことだらけでした。授業も和気藹々とした雰囲気、会話中心の授業だったため、生徒同士も積極的に会話していたため、友達ができやすかったです。授業後も観光に行き美術館を回ったり、教会を巡ったりとウィーンの文化に触れる体験をしました。

● **苦労したこと:**

留学中は苦労の連続でした。まず、今回の留学の参加者は私一人のみだったため、一人でウィーンへ行けるか不安でした。ウィーンへは成田空港からアラブ首長国連邦のアブダビ空港まで行き、そこからトランジットしてウィーンへ行くつもりでしたが、ウィーンへは行かず、アブダビから一度ミラノへ行き、そこでまたトランジットをしてウィーンへ行きました。トランジットを一人ですること自体初めてだったのに、さらに予定外の事態が起きて、さらに混乱に陥りました。

さらに、学生同士は英語で会話するのですが、英語が得意ではなかったため、コミュニケーションをとるのにも一苦労でした。また、授業も英語だったため、理解するのが大変でした。

海外派遣留学生  
留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

私は留学に行く以前に二年間ドイツ語を履修していました。そのため、文法はある程度身につけていました。しかし、会話は挨拶と自己紹介ができる程度で、全くできませんでした。初めはゆっくり話すドイツ語ならば理解は出来ましたが、通常時の会話のスピード感に付いていくことは出来ませんでした。しかし、帰国の数日前には通常のスピードの会話に耳が慣れ、聞き取って理解することができました。また、簡単に言いたいことを相手に伝えることができるようになりました。

2) 専門知識の向上:

先述した通り、私はドイツ語を学習して留学へ行ったため、ドイツ語の文法的仕組みを理解していました。しかし、その仕組みを会話の中でも使用するにはとても神経を使います。瞬時に動詞を変化させたり、主語に応じて動詞の形を変えたりと、会話で使うことで、文法をより理解することとなりました。

3) 自己成長など

一人で海外へ行った経験から、自発的に動けるようになったと思います。日本でも同じですが、自分から動かなければ、一か月という時間はすぐに過ぎてしまうことに気づきました。そのため、積極的にクラスメイトと会話をしたり、ランチへ行ったりしました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

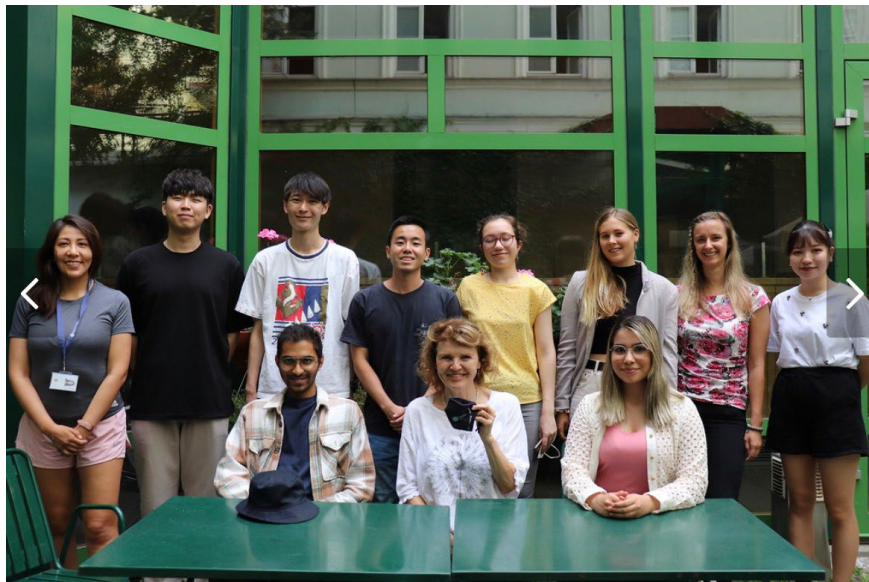
ヨーロッパでは段々とコロナが落ち着いてきて、通常通りの生活に戻りつつあります。そのため、自分の希望する生活が留学先でもできるでしょう。留学に行く前に一度、留学に行つて何がしたいのかを自分なりに考え、それを完遂するために何が必要なのかを考えればより充実した留学になると思います。ウィーンは文化都市なので、事前知識を持っていくと観光などでもより楽しめると思います！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目 ※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	456,740
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	40,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	150,000
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	50,000
その他( )	
留学に関する費用の総額	696,740

海外派遣留学生  
留学報告書

[10] ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)  
※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！





海外派遣留学生  
留学報告書





海外派遣留学生  
留学報告書





海外派遣留学生  
留学報告書



海外派遣留学生  
留学報告書





海外派遣留学生  
留学報告書



---

提出先 :カレッジオフィス

提出期限 :プログラム終了後 1 か月以内